

## 論 点

○投資効果及び収支採算性は妥当か。

○便益計測できない事例について整理すべきではないか。

- ・リダンダンシー
- ・他モードに比較して優位な新幹線の定時運行性
- ・需要予測結果を踏まえた、新幹線輸送が果たす機能の把握 等

○新幹線の開業まで相当な時間があるため、今後の技術開発の余地の幅の中で、投資効果及び収支採算性を確認する必要があるのではないか。

○以下の項目については、4月以降も継続して議論すべきではないか。

①他の交通モードとの連携や地域整備についてもさらなる議論が必要ではないか。

- ・新幹線とその他交通との連携性、地域間を結ぶ広域アクティビティのあり方
- ・個性あるまちづくりに向けた、国と沿線自治体の役割、取り組みのあり方
- ・人口減少・少子高齢化局面を踏まえた駅のあり方

②最高設計速度の向上に向け、制約要因を整理すべきではないか。

- ・320km/h若しくはそれ以上の速度向上

③青函共用走行区間における新幹線と貨物列車の運行はどうあるべきか。

- ・新幹線の高速化による効果の整理
- ・道内と本州間の物流のあり方

④鉄道システムに関する今後の技術開発はどうあるべきか。

- ・更なるコスト縮減
- ・利便性・快適性の向上
- ・鉄道技術の海外展開

3月中に議論を整理すべき事項